

個別注記表

(2017年 4月 1日から
2018年 3月 31日まで)

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

関係会社株式……………移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産……………総平均法による低価法

(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

建物……………定額法

その他の有形固定資産……………定額法

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）……………定額法

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3. 重要な引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については過去3年の貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員への賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 製品保証引当金

製品保証に伴う費用の支出に備えるため、保証期間内の販売済製品については、過去1年の実績率に基づいて計算したアフターサービス費用を計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方法を採用しております。ただし、控除対象外消費税等は、当事業年度の費用として処理しております。

貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額	4,062,727千円
2. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務	
短期金銭債権	1,382,038千円
短期金銭債務	1,182,041千円
長期金銭債務	4,496,500千円

損益計算書に関する注記

関係会社との取引高	
営業取引の取引高	
売上高	1,201,576千円
仕入高	353,211千円
営業経費	1,347,619千円
営業取引以外の取引高	38,554千円

株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式の種類及び総数	
普通株式	11,800株

税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因は、減価償却限度超過額、退職給付引当金の否認等であります。

リースにより使用する固定資産に関する注記

貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している設備及び車両があります。ファイナンス・リース契約に該当する建物賃貸借契約により、固定資産計上したリース建物がございます。

1 株当たり情報に関する注記

1. 1株当たり純資産額	△308,260円84銭
2. 1株当たり当期純損失	△249,632円83銭

重要な後発事象に関する注記

当社は、2018年4月1日付で、連結子会社であるパナソニックエイジフリーライフ上熊本株式会社を吸収合併いたしました。